

- 19.5.3 大隈命 100号 下に 32A の隷下.
- 奄美大島要塞司令官 井上大佐 19.5.10 MRS 長に命下
- 19.5.14 編成着手 5.30 編成完了
主力は広島師團にて編成 奄美要塞部隊に合し 5.30 奄美大島古仁屋にて発信
井上大佐は 5.21 沖縄に出発 5.25 帰徳している (79aA 降中記)
- 19.6.15 古仁屋を徳之島上陸 第3大隊は沖永良部に上陸
- 19.7.24 64MBs の隷下に入子.

○ 小隊長 (中) 佐藤俊一 (師) 徳之島

IBn/21c

徳之島

	19.5.10 ◎ (中) 山本 八郎次 (○)	中隊長◎ (大) 中村正登 (○)
	副隊長◎ (中) 壺山 宝海 (○) 19.6.13 徳之島上陸	Mt Co
	4 ◎ (中) 橋本 涉 (○)	
	◎ (注) 欠	
	◎ (医) 植草 寿松 (現)	Mt Co
	◎ (医) 木村 隆盛 (○)	
	中隊長◎ (大) 徳永 正海 (○)	
10	付◎ (中) 平山 薫 (○)	
	" ◎ (○) 長田 実 (○)	
	" ◎ (○) 生園 清次 (○)	
	4.6.27	
	中隊長◎ (大) 谷本 正夫 (○)	
20	付◎ (中) 増田 喜四郎 (○)	
	" ◎ (中) 水原 繁雄 (○)	
	" ◎ (中) 久田 見 忠 (○)	
	中隊長◎ (大) 福原 卓三郎 (○)	
30	◎ (中) 藤野 猪熊 (○)	
	◎ (中) 山田 積 (○)	
	◎ (中) 岸 敏考 (○)	

IBn / 210

5.19 係之為系

大隊長^{大1} 榎本 謙 (53)
 副官^{中1} 井上 弘成 (0)
 付^{少1} 長岡 常三郎 (0)
 " ^{少1} 奥村 通 (0)
 ◎^{主大} 土居 又次郎 (0)
 ◎^{医大} 堀 肇 (0)

中隊長^{大1} 原田 英男 (0)
 付^{少1} 齋藤 四男 (0)
 " ◎^{少1} 隅田 春人 (0)

中隊長^{大1} 石原 邦隆 (0)
 付^{少1} 長岡 宗一郎 (0)
 " ◎^{少1} 飯塚 静 (0)
 " ◎^{少1} 大村 見二 (0)

中隊長^{大1} 荒川 真治 (0)
 付^{少1} 吉岡 利三郎 (0)
 " ◎^{少1} 広瀬 浩 (0)
 欠

中隊長^{大1} 田良 正則 (0)
 付^{少1} 森本 信義 (0)
 ◎^{少1} 岩武 滋義 (0)
 ◎^{少1} 岩崎 祥一 (0)

沖永良部島

後任 岩井 聖 郡 大尉?

III Bm / 21 乙

戦後 20年1月

大隊長(大) 吉岡 勝 (持1)

代理(大) 藤田 考治

副官(大) 和田 孫次 (0)

0

◎(中) 藤村 正夫 (0)

◎(大) 香川 敬雄 (現)

◎(大) 平井 鐵夫 (0)

◎(少) 栗原 実 (0)

中隊長(大) 藤田 考治 大隊長代理へ

7. ◎(中) 有川 貞辰

付 ◎ (中) 岩崎 敏治 (0)

〃 ◎ (〃) 河野 保孝 (0)

〃 ◎ (〃) 植村 文龍 (0)

中隊長(大) 清水 静男 (0)

8. 付 ◎ (中) 廣中 潔 (0)

〃 ◎ (〃) 小野 一真 (0)

〃 ◎ (〃) 浅野 一之 (0)

中隊長(中) 平 宏 (0)

9. 付 ◎ (中) 松延 慶二 (0)

〃 ◎ (〃) 上岡 厚水 (0)

〃 欠

中隊長(大) 原田 宇一 (0)

Mg 付 ◎ (中) 山根 稔也 (0)

Co 欠

?
植
小隊長(少) 植村 文龍

— 19.6.28 与海島守七隊長

R/A 2125 TAco Pco

中隊長(大) 金子末松(0)

◎(中) 見口健藏(0)

R/A ◎(少) 伊藤易=則(0)

Co

(中) 山崎敏彦?

4/14 山崎

中隊長(大) 三浦正信(0)

◎(中) 湯面義人(0)

TA ◎(少) 寺西大作(0)

Co

TA

Co

37教TA

中隊長(大) 甲斐憲一則(0)

付◎(中) 田中重郎(0)

◎(少) 三上壽吉(0)

◎(少) 元木義雄(0)

工兵中隊

中隊長 19.5.14 編成 5.30 完結
5.30 古仁屋上陸
6.15 古仁屋交 待之の上陸

19.5.19 山口西部隊 4部隊 仮編成

5.30 編成完結

鹿児島県薩摩郡鹿田村鹿田 1696

独立混成第22連隊 (球7166) 19.7.12. 鹿児島市 中国 104

19.7.14.
隊長(大佐) 鬼塚義淳 (27)

- (大) 永田楠男 本印か?
- (大) 金子博彰 (原)
- (大) 山本秀雄 (原)

主計(美) 木村忠男 (0)

大隊長(少佐) 荒二井芳衛

- 19.7.14.
- 大隊長(大) 目村光之助
- " (小) 橋詰捨雄
- " (小) 荒二井芳衛

(中) 小隊長 木村貞昭

19.8.16 大島那伊仙村上陸

- 大 石川玉樹 佐之島
- 中 佐藤季夫 佐之島
- 小隊長(大) 石井凌二 佐之島
- 中隊長(大) 小野武雄 佐之島

(大) 石田義夫 佐之島

(R) 中隊長(大) 山本秀雄

(中) 大田学次郎 佐之島

要初回殺

19.11.20 22MRs付 (中) 生田惠造

19. 7. 12 军令陸甲第47号 付長第4

7. 19 动员下令

o 19. 7. 24 动员先遣 (步兵第11中队補充隊)

7. 31 町司出港

8. 19 德文の平土路上陸

19. 8. 19 ~ 20. 8. 14 德文の警備

IBm/22MR

19. 7. 14
表二井 菅江(特17) — 11 二班 完隊 17

II B₀₁ / 22 MR₅ (古仁屋?)

橋爪 ^{19.7.14} 捨雄 () 35x中隊長

副官 (中) 井原 皓 (0)

400

19.7.19 勅令下令

7.24 編成先遣

19.8.8 古仁屋上陸

500

600

III B_a / 2 HRS

19. 7. 14
田村 九元祐 (16) 公本等 8/1

1A / 22MR5

I兵PDC / 22MR5

隊長

兵力283名

小隊長(中)和國兵壯

小隊長(中)井上晴著(中)

19.7.24 編成完結 (11名)

7.24 女官出陣

7.31 門司出陣

8.8 古仁屋上陸

8.31 古仁屋交同日徳之島上陸

奄美大島陸軍病院 (3号病院甲编队)

病院長

(第1) 永田一男 ^{19.8.11}

(第2) 宮城成圭

(第3) 加藤光久

昭和16.9.17 ^{10?} 編成

昭和16.9.23 開設

昭和16.4.1 3号院下

昭和20.6.25 16HA院下

昭和20.12.19 別館

昭和20.12.25 七F屋上付

昭和20.12.26 鹿児島島上陸

德之島陸軍病院

病院長 (中少佐) 橋爪 関次
" (中) 久木山 行泰
" (中) 永尾 博

19.6.12 補給隊入

編成時 将校 5
准下 5
兵 30

20.2.4 32A 隊印
20.2.4 病院長入

半級 行中 20名 入隊

17 600?

19.5.3. 大命 1001 号 11-2 32A 編入

昭 19.6.1 編成 第 10 19.6.3 完結

19.6.19. 姫路 赴

19.7.19 德之島 赴

昭 19.6.19 (C-2000-21)

20.6.20. 西軍 歸下

20.12.19 山港 出帆

20.12.25 古仁屋 出港

" " 26 鹿兒島 入港

独立混成第65旅団 (1)

旅団長

山岡道武 (30) 4/6

木原義雄 (27) 20.7.5

台湾

19.8.1

20.7.5

高雄陸軍兵事部長兼高雄地区司令官

大佐 陽敏三 (21)

台湾師兵務部長 18.6.10

大佐 (少将进级) 佐々木博 (24)

花蓮港 陸軍兵務部長 (19.8.26) 兼花蓮港地区司令官 (20.7.5)

大佐 井上政慶 (23)

台湾步兵第1師隊長 大佐 (17.11.9)

大佐 垣岡文吾 (27)

台北陸軍兵務部長 (16.8.1) 兼台北地区司令官 (20.7.5)

大佐 有田清樹

澎湖的要塞司令官兼澎湖的要塞重砲兵連隊長 (17.12.1)

基隆兵務/2連隊長 (18.1.9) 大佐 鴉飼源吉 (25)

台中陸軍兵務部長 (19.8.1) 兼台中地区司令官 (20.7.5)

大佐 筵倉吉介 (25)

10HA司令部付 (19.11.27) 大佐 大久保弘一 (27)

台湾陸軍兵務補給廠長 (18.6.1) 大佐 林田仙蔵 (27)

10HA司令部付 大佐 斐隆之助 (29)

(20.6.17)

台湾步兵第1連隊長補充隊長 (18.3.13) 大佐 奥中義男 (26)

台湾步兵第2

(19.4.18) 大佐 永野千秋 (20)

清野 実

仙台市支倉所長

清野久盛

66D 參謀長 (19.7.14) 大佐 鈴木石次 (33)

12D 參謀長 (20.2.20) 大佐 工藤俊二 (33)

12D 參謀 (20.2.20) 大佐 若山席一 (33)

花蓮港陸軍兵事部員 ~~中佐~~ (19.4.1)

台東地區司令部 (20.7.5) 中佐 中村三雄 (30)

台灣軍防空情報隊長 (18.5.21) 中佐 廣川勝正 (30)

140 砲兵 ~~中佐~~ (20.12.25) 中佐 竹内圭計 (30)

台灣軍教育隊長 (18.8.2) ~~中佐~~ 鈴木律一郎 (36)

66D 參謀 (19.7.14) 中佐 青武正 (38)

50'

25TKR

~~1. 8月 基隆上陸 (+7000 名位)~~
~~2. 8月 國庫 8月 中 功 預~~
~~3. 8月 8月 下旬 (古莊)~~

0 編隊 ~~25TKR~~ 編隊 19年3月頃

12TKR 司令部 編隊

連隊長 早坂一郎 (27?)

副官 杉沼文一 (21?)

船橋右佐

20.6 月 大陸

100 系 國復六 (55) L 95 LTK (11西) ?

200 國海光毅 (53) 411 (11西) ?

300 本野淑郎 (54) 411 (11西) ?

斐中隊 (55) 後長 振國 率 (56?)

0 步兵大隊 長 田原 率 (少 20)

步 3 中
MG 1 中

砲兵中隊 90A 砲中中隊 (足) 4門

工兵中隊 少隊 (予)

19.3月 包頭 — 日

19.5月 平地泉

19.7月末 釜山 — 第1掃団 連絡 台湾の管? (去り)
第2掃団は釜山 — 下関 船を本元 (1000年)
下関 — 鹿見島 (1泊) (早船)
池2島から 廻団

自給率100% (周流治の部隊) 同歩隊
陣銃は 14M9 Bas と同船。 — 5

基隆上陸。

湖口に入る。台湾航空隊 初空襲を受け。(去り)

その後約 1ヶ月後 R17

田草埔に移る。(鳳山の町 3-4 軒) — R20

◎ 12Dの指揮下に入る。

← 200 — 1850Dの配属と移る。(20年 ~~編成~~ 編成済)

40A (嘉義) に連絡 将校 派遣 1中。

20年5月 編成 改訂

7月 編成 定結 部隊の内容はそのまま

鳳山 附近に 陣地を 掘り 九曲堂 地方に 掃隊 陣地
番号の 呼称 改定 あり。

200 は そのまゝ 配属 (潮州の 東の 山の 中 に入)

潮州 砲臺 (井) の 奥 に 居る。

大東島支隊 (第85兵站警備隊)

隊長 (中佐) 横田 熊次郎 (35) ^{19.3.25} - 19.4.24 西雅

(中佐) 深谷 正 (34) ^{19.5.5} 19.5.15 十八番 19.5.17 大津島番

副官

^{19.7.25}
(中尉) 村屋 三治 (0)

主計 (中尉) 小山 秀雄 (0) ^{19.7.25}

19.3.15 (163号) 要務通報

4.24日付

任大佐 - 中佐 横田 熊次郎

任大尉 - 中尉 柴尾 俊茂 (0)

任大尉 - 中尉 岸本 稔 (0)

任主計大尉 神代 拓植 八郎 (0)

19. 3. 25. 臨動第8号より第85兵站警備隊動員下令

4. 3 編成完結

4. 11 内可乗船

4. 24 横田中佐以下18名遭難戦死

" 南大東島の上陸

5. 15 軍令陸甲第47号より大東島支隊に変更

5. 17 深谷中佐着任

7. 25. 36口径の擧げ下に入り南大東島の西地部隊として警備

8. 10. 野砲(既着中)を以て敵潜水艇を射撃 戦果不明

10. 10 艦上機の攻撃を受ける

20. 3. 1 艦上機の攻撃

3. 21 ~ 3. 31 艦上機の攻撃 3. 27夜より3. 28未明 艦夜射撃

4月2, 4, 5, 7, 9 一艦上機の攻撃

4月10, 21 艦砲射撃を受ける

5月中旬 4, 5回 艦上機攻撃

6月9 艦砲射撃 10. 艦上機攻撃

8. 15. 終戦の大詔

10. 15 沖大島島守備隊(第4中隊)復員の大部分帰還 10. 22 復員

11. 8 第1, 第2, 歩兵砲中隊 南大東島の出發 11月 復員

11. 24. 本部, 第3, MA中隊 第2次復員 宇島到着, 28日復員

隊長深谷, 副官村屋大尉, IA中隊長 山本中尉(折込)
入院患者3名(付添3名破)

第506特設警備工兵隊 (18820)

○第1中隊長(大) 高良 鉄夫

○(少) 有銘 興昭

○(中) 照屋 善清

兵部定 199名

